

ヒットモルタルⅡ 標準施工要領書

1. 断熱材の充填

- (1) 内装材を取り付ける前に、断熱材を柱及び間柱の間に充填する。
- (2) 防湿層を室内側に向けて隙間ができないように充填する。
- (3) 防湿フィルムの耳は柱、間柱の見付け面に約 200 mm間隔でステーブルで留める。

2. 下地造り

- (1) 木工事

イ. 枠組壁工事

構造用合板等の釘打ちは、太め鉄丸くぎ CN50 を外周部 100 mm以内、中間部 200 mm以内に打ち付ける。

ロ. 軸組工法

下地材に面材を使用する場合の釘打ちは、鉄丸くぎ N50 を外周部・中間部とも 150 mm以内に打ち付ける。
小巾板を使用する場合は、板そば 30 mm以内に目透かし張りとし、釘打ちは鉄丸くぎ N50 を 2 本平行打ちする。継ぎ手は柱、間柱心で突き付け、5 枚毎に乱継ぎとする。

ハ. 木質系組立構造

建築基準法第 38 条に基づく国土交通大臣の申請を取得した構造形式「木質系組立構造」の建築物の耐力壁に準じる。

ニ. 鉄骨構造

構造用合板の取り付けは、タッピングねじ(JIS B 1122)φ4×L40 mm以上を使用して留めつける。

- (2) 防水材又は透湿防水シートの張り付け(構造用面材を用いない場合)

直張り仕様の場合はアスファルトフェルト 430 を、通気仕様の場合は透湿防水シートを、重ね代を縦横共に 90 mm以上とり、アスファルトフェルト固定用留付材又は透湿防水シート固定用留付材を用いて、柱、間柱転び止めの表面に、たるみ、しわのないように張り付ける。

- (3) 構造用面材の取り付け(構造用面材を用いる場合)

構造用面材を、構造用面材固定用留付材を用いて、柱及び間柱の表面に取り付ける。

横目地がある場合は転び止めを設け、転び止めの表面にも取り付ける。

- (4) 防水材又は透湿防水シートの張り付け(構造用面材を用いる場合)

直張り仕様の場合はアスファルトフェルト 430 を、通気仕様の場合は透湿防水シートを、重ね代を縦横共に 90 mm以上とり、アスファルトフェルト固定用留付材又は透湿防水シート固定用留付材を用いて、構造用面材の表面に、たるみ、しわのないように張り付ける。

- (5) 胴縁および補助胴縁の取り付け(胴縁および補助胴縁を取り付ける場合)

胴縁は、透湿防水シートの表面に胴縁固定用留付材を用いて取り付ける。また、必要に応じて補助胴縁を両面テープ、接着剤または胴縁固定用留付材を用いて取り付ける。

- (6) 下地材の取り付け(下地材を用いる場合)

下地材を、下地材固定用留付材を用いて胴縁及び補助胴縁の表面に取り付ける。

(7) 防水材の張り付け(防水材を用いる場合)

防水材は重ね代を縦横共に 50 mm以上とり、防水材固定用留付材を用いて、下地材の表面に、たるみ、しわのないように張り付ける。

(8) 鉄網の取り付け

鉄網は、横張り又は縦張りとし、千鳥に配置する。網目は縦横とも 30 mm以上重ね、鉄網の浮き上がり、たるみのないように鉄網固定用留付材をエアタッカーを用いて留め付ける。

3. ヒットモルタルⅡの施工

(1) 混練

ヒットモルタルⅡ 25kg に対し清水 8.5～9.5 リットルをモルタルミキサーで混練する。
練りあがり後は 60 分以内に塗り付ける。

(2) 下塗り

コテ圧を十分にかけて鉄網が隠れるよう 8～10 mm厚で下塗りする。

(3) 上塗り

イ.ひび割れ防止用耐アルカリ性ガラス繊維ネットを使用する場合

下塗りの縮まり具合を見計らい、上塗りを行う。

上塗りはこて圧を十分にかけて、下塗りとは良く密着させる。

上塗り後、直ちにひび割れ防止用耐アルカリ性ガラス繊維ネットを張り、しわや浮きが無いようにコテで均しながら上塗り層の表面に埋め込む。

水引き具合を見てムラ直しを行なう。

ロ.ひび割れ防止用耐アルカリ性ガラス繊維ネットを使用しない場合

下塗り後 1～2 日間養生をとり、乾燥させる。

下塗り面に水打ちまたは吸水調整(「ユニレックス 3」の 5 倍液を塗布し乾燥させる)を行う。

下塗りとは合わせて 15 mm以上となるように、下塗りとは良く密着させながら上塗りを行なう。

上塗りの水引き具合を見てムラ直しを行ない、開口部両際に上下垂直方向の目地をつくる。

ハ.防水紙付き鉄網を用いた単層通気構法の場合

下塗り後 1～2 日間養生をとり乾燥させる。

下塗り面に水打ちまたは吸水調整(「ユニレックス 3」の 5 倍液を塗布し乾燥させる)を行う。

下塗りとは合わせて 15 mm以上となるように、下塗りとは良く密着させながら上塗りを行なう。上塗り後、直ちにひび割れ防止用耐アルカリ性ガラス繊維ネットを張り、しわや浮きが無いようにコテで均しながら上塗り層の表面に埋め込む。

水引き具合を見てムラ直しを行なう。

(4) 養生期間

ヒットモルタルⅡの上塗り後、養生期間は 10 日以上(冬期 14 日以上)とする。

4. 内装材の取り付け

(1) 内装材は内装材固定用留付材を用いて柱、間柱及び転び止めの表面に留め付ける。

(2) 目地部には、内装材用目地処理材を施す

—以上—